

市営霊園及び旧設墓地の手続き

市営霊園及び旧設墓地の使用にあたっては、札幌市墓地条例等により、様々な手続きが決められています。

使用者が適切に手続きをすることで、無縁墓の抑制につながります。

～こんなときはお手続きが必要です～

- ☑ 墓地使用者がお亡くなりになった場合
- ☑ 墓地使用者を他の親族に変更する場合
- ☑ 本籍や住所、氏名が変わった場合
- ☑ お墓に納骨する場合

■相談・手続き窓口

相談・手続き窓口	住 所	閉所日 (冬期間所期間)	開所時間
札幌市保健所生活環境課 Tel011-616-2855	〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目WEST19	土・日・祝 12/29～1/3	8時45分～ 17時15分
平岸霊園管理事務所 Tel011-831-6980	〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条15丁目	土・日・祝 12/29～1/3	8時45分～ 17時15分
里塚霊園管理事務所 Tel011-881-2110	〒004-0809 札幌市清田区里塚468	土・日・祝 (12/1～3/31)	8時45分～ 17時15分
手稲平和霊園管理事務所 Tel011-663-2172	〒063-0029 札幌市西区平和387	土・日・祝 (10/21～4/20)	9時15分～ 16時00分

- 各種お手続きにはそれぞれ必要書類があることから、各霊園管理事務所又は札幌市保健所の窓口へお問い合わせいただくか、下記ホームページをご参照ください。
- 旧設墓地に関するお手続きは、札幌市保健所にお越しください。

札幌市公式ホームページ_市営霊園・墓地手続き

https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/boen/3_te_tetuduki.html



札幌市火葬場・墓地に関する運営計画【概要版】

令和4年(2022年)3月発行



札幌市保健福祉局保健所生活環境課

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
TEL:011-622-5182 FAX:011-622-7311



札幌市火葬場・墓地に関する運営計画 【概要版】

札幌市

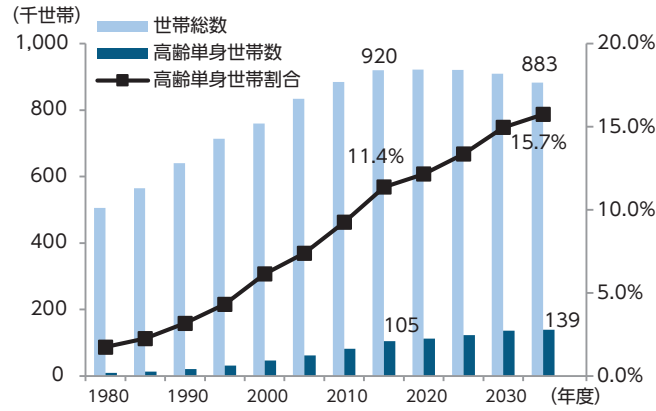
社会状況に関する背景

今後、人口の多い世代の方々が寿命を迎えられる頃、亡くなる方が多い状態が続く「多死社会」が本格化します。

「多死社会」が本格化すると…

- 火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる。
- 跡継ぎがないため、お墓が放置される。
- 高齢単身世帯の増加に伴い、孤立死などにより引取者のいない遺骨が増えてしまう。

【札幌市の高齢単身世帯数の推移】



亡くなった方の尊厳を保つことが難しくなります

こうした課題を解決するため…



市民

生前のうちから葬送のことを自分事として考え、行動するきっかけとしてもらう。



行政・事業者

多死社会に向けて、火葬場や墓地を安定的に運営し、必要な葬送を実現する体制を整える。

「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を策定

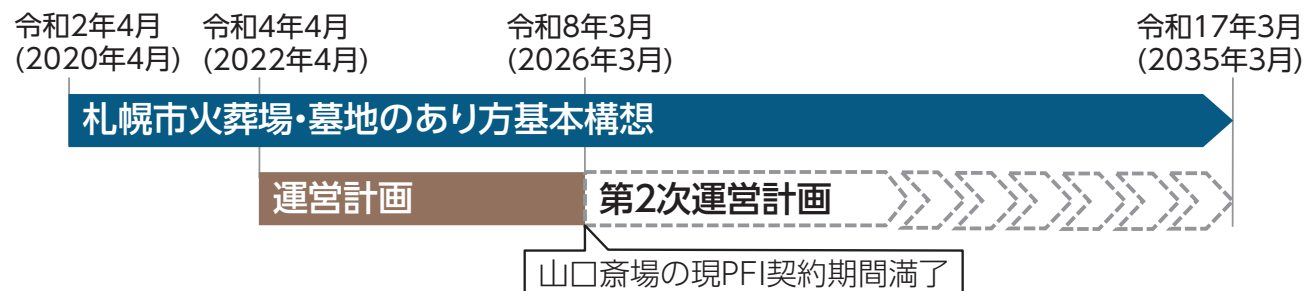
ビジョン(将来の目指す姿)
みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち
～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～



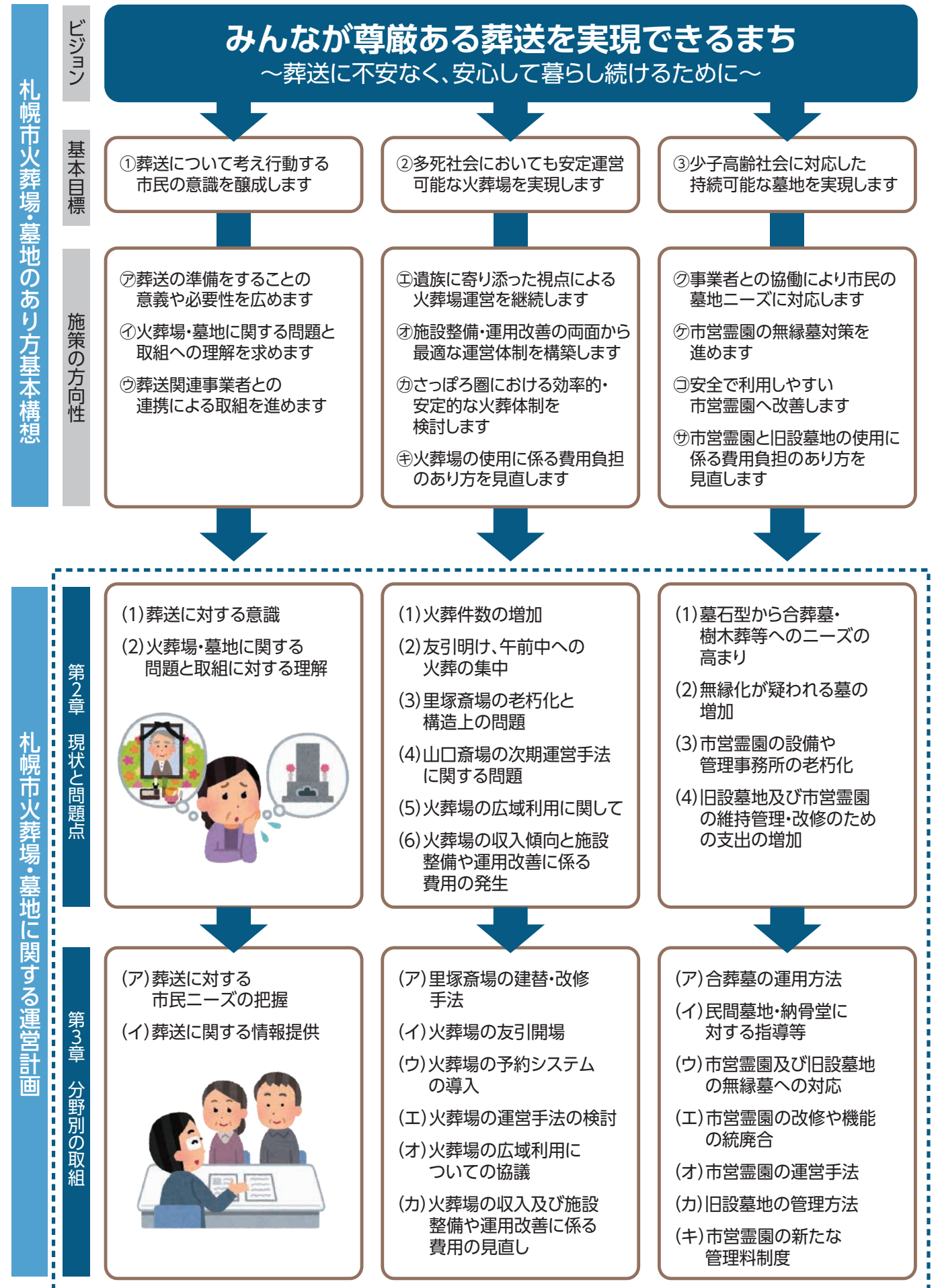
そして、基本構想で掲げたビジョンを実現するため…

基本構想で定めた施策分野ごとの現状と問題点を再整理し、分野別の取組を具体化した運営計画を策定しました。

【計画の対象期間】



【基本構想と運営計画の関連性】



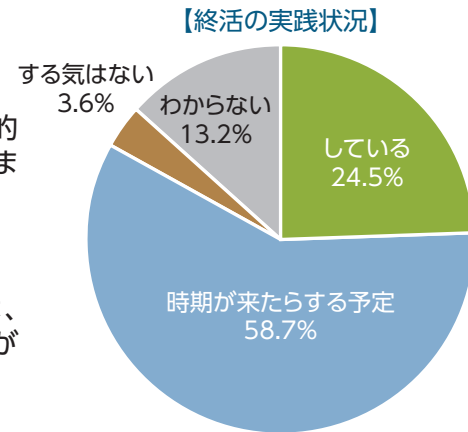
1 葬送に対する市民の意識 本書P4~

○葬送に対する意識

平成30年度(2018年度)の調査では、終活について約75%の方が肯定的な印象を持っていた一方で、「実際に終活をしている」方は約25%にとどまるといった結果になりました。

○火葬場・墓地に関する問題と取組に対する理解

多死社会の到来により今後深刻化する火葬場や墓地に関する問題は、市民生活にも直結することから、しっかりと市民に理解してもらう必要があります。

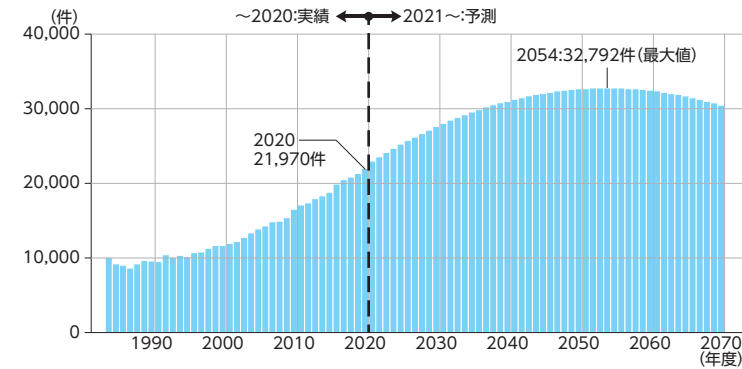


2 火葬場 本書P7~

○火葬件数の増加

今後、多死社会が訪れることで火葬件数が増え、令和36年度(2054年度)には約32,800件に達すると予測されます。

【年間火葬件数の推移】



○友引明け、午前中の火葬の集中

友引に休場する運用を続けた場合、令和11年度(2029年度)ごろの友引明けには、既存施設の限界火葬件数(177件/日)に到達すると予測されます。

【休場日翌日の火葬件数の内訳】

	最小	平均	最大
2020年度実績	77件	102件	132件
2029年度予測	79件	122件	177件

1 市民の意識醸成 本書P28~

(ア) 葬送に対する市民ニーズの把握

- 民間墓地経営者や葬送関連事業者等とも連携しながら、イベントの場やインターネットアンケート調査等を活用して市民のより具体的なニーズを把握し、情報提供の取組に繋げていきます。
- 友引開場や市営霊園の新管理料制度などの取組を実施する際には、ワークショップなどを行い、市民との対話に努めます。



2 多死社会に対応した火葬場 本書P34~

(ア) 里塚斎場の建替・改修手法

- 建替時期や建替場所を選定のうえ、火葬場の規模や事業方式を検討し整備計画を策定します。

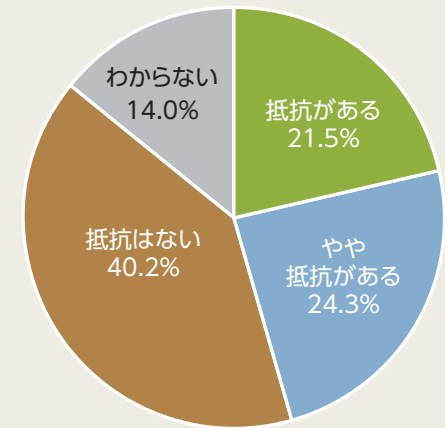
【里塚斎場】



(イ) 火葬場の友引開場(重点項目)

- 友引に開場することで休場日翌日の火葬集中を解消し、混雑の緩和を目指します。
- 火葬件数は時期によって変動するため、火葬が多い時期(冬季等)に開場するなど、需要に応じた開場日数を検討します。

【友引の火葬について どう考えるか】



3 墓地と納骨堂 本書P18~

○旧設墓地及び市営霊園の維持管理・改修のための支出の増加

○市営霊園の設備や管理事務所の老朽化

開設から40年以上経過しており、今後、構築物の修繕や事務所の建替等に多額の費用がかかります。適切な維持管理を行うために、収支改善に向けた見直しを検討する必要があります。



○無縁化が疑われる墓の増加

少子高齢社会の進展に伴い、管理する人がいない、もしくは適切に管理されていない墓が増加しています。

【使用者への通知における返戻の割合】(2020年12月末)

	使用区画数	返戻件数	返戻割合
平岸霊園	12,556	2,821	22.5%
里塚霊園	26,201	5,040	19.2%
手稲平和霊園	2,902	523	18.0%
旧設墓地	5,475	1,335	24.4%
計	47,134	9,719	20.6%

3 少子高齢社会に対応した墓地 本書P48~

(ア) 合葬墓の運用方法

- 多様化するニーズにも対応できるよう利用希望者の条件及び受益者負担の考え方を再整理します。
- 合葬墓の新增設に向けた検討を実施します。

(イ) 民間墓地・納骨堂に対する指導等

- 民間墓地経営者と連携し、多様化する市民ニーズの把握に努めるとともに、市民ニーズを踏まえた墓地供給を推進します。
- 墓地等財務状況審議会を活用し、民間墓地や一定規模以上の納骨堂の財務状況を確認します。

(ウ) 市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応(重点項目)

- 戸籍調査を継続実施し、新住所や縁故者の有無等を確認します。
- 無縁墓の改葬方法や撤去の手順等を整理します。
- 調査結果により無縁墓と判定された区画は、空き区画としての活用を検討します。

【無縁化が疑われる墓】



(イ) 葬送に関する情報提供

- 庁内関係部局等と連携しながら、各種媒体を活用し、市民ニーズを踏まえた啓発を行っています。
- パネル展等のイベント開催により周知、啓発を行います。
- キャッチコピー、ロゴマークを活用した普及啓発を行います。

運営計画策定に先駆け、令和3年度(2021年度)に実施した主な取組

▶ 区役所でのパネル展示



▶ ロゴマークの作成



札幌市立大学にロゴマークの作成を依頼し、同大学生の応募作品の中からデザイン学部2年生の小高梨乃さんの作品に決定しました。

<作品説明>

札幌の花である一輪のスズランは札幌市民を表します。中央の手は、葬送と札幌の頭文字である「S」の形をしていて、スズランを大切に抱いている様子を描いています。

▶ Twitterの開設(札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会)



火葬場・墓地の問題や取組等について啓発するため、Twitterを開設しました。



成果指標

葬送に関する行動をしている市民の割合
 現状(2021年度) 38.6% → 目標値(2025年度) 50.0%

(ウ) 火葬場の予約システムの導入(重点項目)

- 札幌市の火葬需要は午前中に集中し、火葬場の休場日明けを中心に待ち時間が発生しています。今後の火葬件数増加によりさらに待ち時間が増えることが想定されるため、予約システムを導入し、混雑の緩和を目指します。

【山口斎場入場前の車内待ち時間(実測及び予測)】

	2019年度実績(※1)	2025年度予測(※2)	2029年度予測(※2)
1日の火葬件数	48件	81件	87件
車内待ち時間(平均)	18分	54分 → 予約システム導入後(30分以内)	66分 → 予約システム導入後(30分以内)
車内待ち時間(最大)	61分	124分 → 予約システム導入後(30分以内)	138分 → 予約システム導入後(30分以内)

※1 2019年度12月25日の調査実測値 ※2 2019年度の調査実測値をもとに予測

(エ) 火葬場の運営手法の検討

- 山口斎場はPFI事業により運営しており、建設・運営コストの削減と平準化に寄与しております。
- 令和7年度(2025年度)で終了する現事業後もPFI事業での運営継続を目指します。

【山口斎場】



(オ) 火葬場の広域利用についての協議

- 協定を結んでいる自治体との今後の利用の枠組みや、大規模修繕及び災害時の協力体制について協議を進めていきます。

(カ) 火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し

- 今後の火葬場整備に費用がかかるため、料金体系の見直しや、特別控室の利用率向上に向けた見直しを検討し、火葬場の安定的な運営を目指します。



成果指標

火葬場入場前の車内待ち時間の抑制
 現状(2020年度) 64分 → 目標値(2025年度) 30分以内

(エ) 市営霊園の改修や機能の統廃合

(オ) 市営霊園の運営手法

- 火葬場等他施設の状況も加味した上で、里塚霊園管理事務所の建替及び手稲平和霊園管理事務所の統廃合等を検討します。
- 市営霊園のバリアフリー化を検討します。
- PFI及び指定管理者制度の導入を検討し、利用者により良い運営手法を整備します。
- 市営霊園の空き区画を活用した憩いの空間の創出や景観向上等を検討します。

(カ) 旧設墓地の管理方法

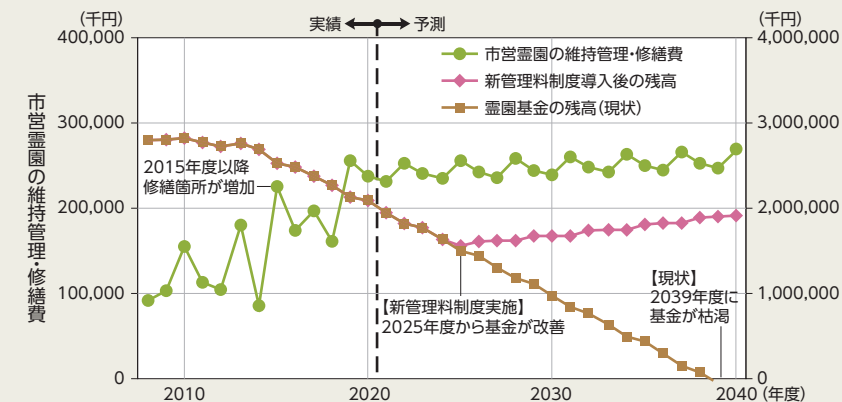
- 案内看板の設置により、未許可墓の解消を図ります。
- 受益者負担の考え方に基づいた管理料徴収制度の導入を検討します。
- 旧設墓地の多面的な活用として、市民の憩いの場等の可能性を見据え、課題を整理します。



(キ) 市営霊園の新たな管理料制度(重点項目)

- 使用開始から20年を経過している墓地使用者からの追加徴収に向けた検討を実施します。
- 無縁墓対策を兼ねた徴収頻度を設計します。
- 滞納者対策として、督促方法等についての考え方を整理します。

【市営霊園に係る経費及び霊園基金の残高の推移】



成果指標

無縁墓及び無縁化疑いの墓の割合
 現状(2021年度) 21% → 目標値(2025年度) 13%